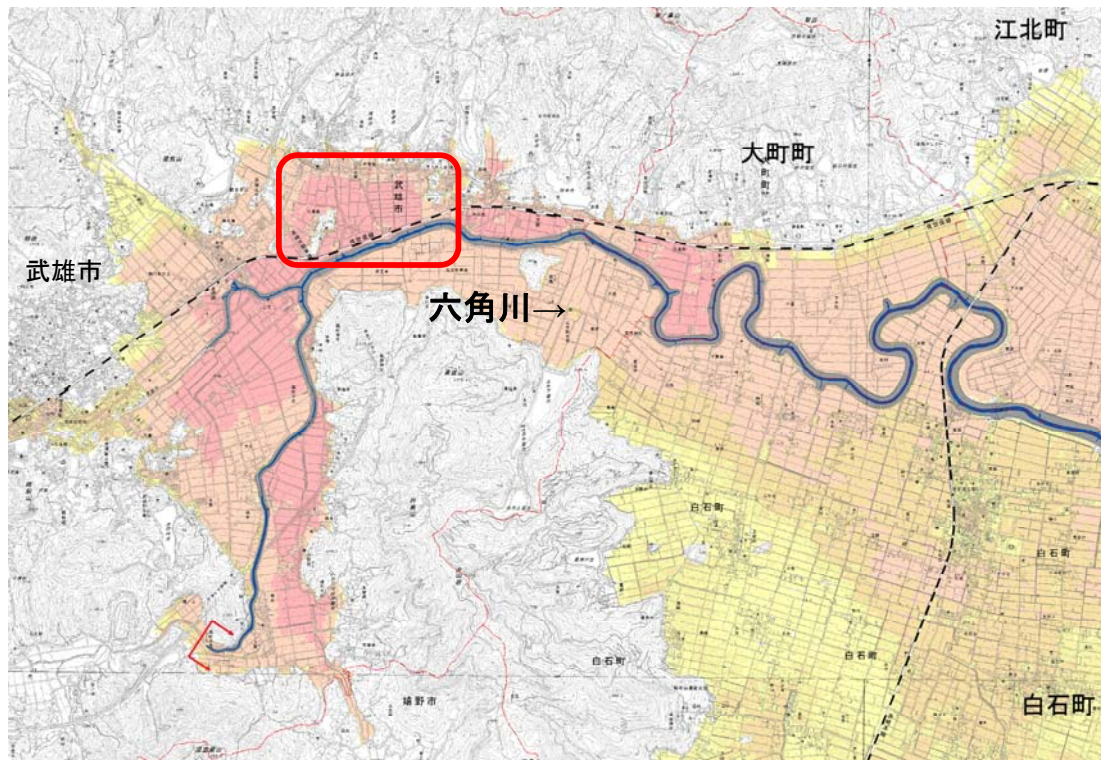


## 六角川水系緊急治水対策プロジェクト

③減災に向けた更なる取組の推進(まちづくり、ソフト施策)

## 住まい方の工夫に関する取組（「まちづくり」による水害に強い地域への誘導）

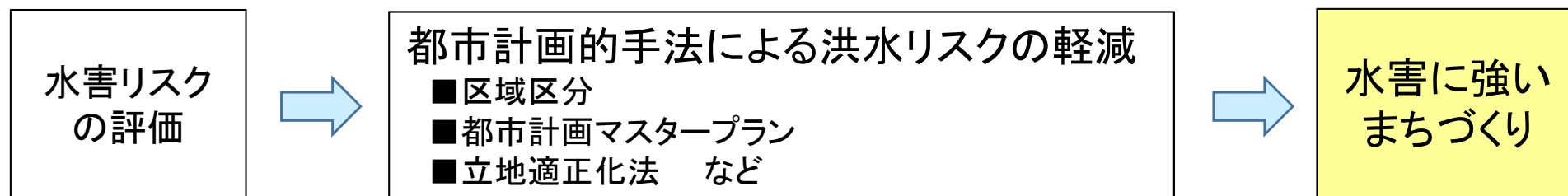
○住まい方の工夫に関する取組として、都市計画マスタープランや立地適正化計画等「まちづくり」による水害に強い地域への誘導を行っていきます。



六角川水系浸水想定区域図



R1年8月洪水時の浸水状況



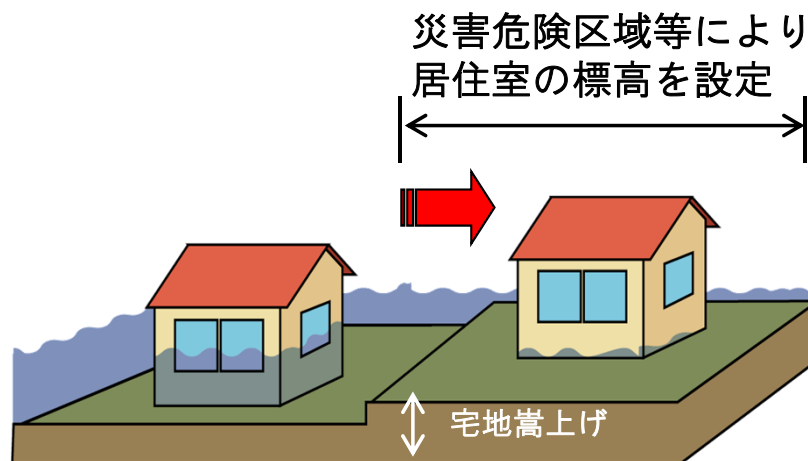
## 住まい方の工夫に関する取組（住まい方の誘導による水害に強い地域づくりの推進）

○住まい方の工夫に関する取組として、住民への浸水リスク情報や過去の水害の教訓を踏まえた宅地高情報の周知、居住室標高の設定等を通じた住まい方の誘導による水害に強い地域づくりの推進を行っていきます。

今後の対策の方向性と内容

### 新築や改築時における考えられる浸水対策

住民への水害リスク情報  
や水害教訓を踏まえた宅  
地高情報の周知



宅地嵩上げの事例（宮崎県：五ヶ瀬川）

### 住まい方の工夫とは？

浸水常襲地帯である六角川流域では、過去の水害を教訓に宅地の嵩上げが行われてきました。この教訓をルール化し、浸水被害を軽減させるために、住民への浸水リスク情報や水害教訓を踏まえた宅地高情報の周知、災害危険区域等の設定による低い部分への居住室の建築規制等により、水害に強い地域へ誘導します。

## 住まい方の工夫に関する取組（不動産関係団体への水害リスク情報の提供と周知協力の推進）

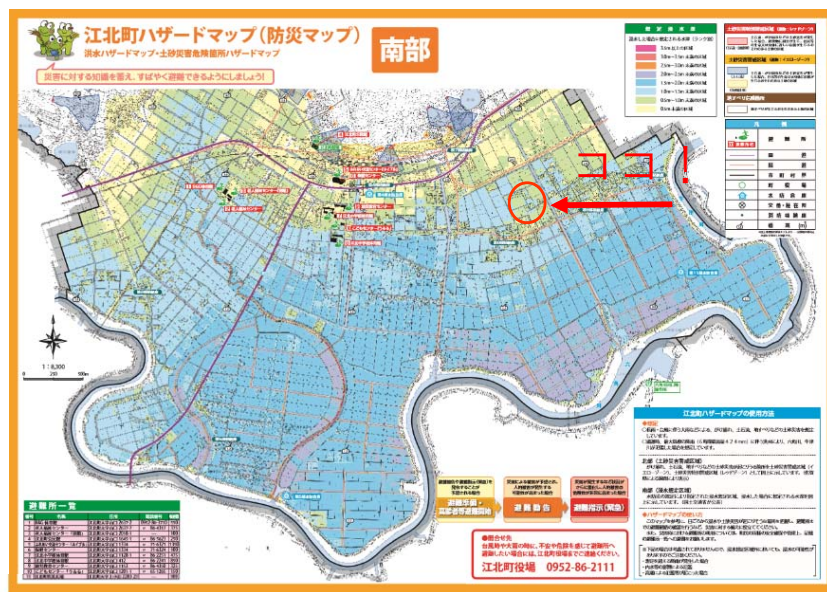
○住まい方の工夫に関する取組として、不動産関係団体への水害リスク情報の提供と周知協力の推進を行っていきます。

今後の対策の方向性と内容

<不動産取引時>

宅地建物取引業者

取引の相手方



水害リスク情報の提供と周知

水害リスクを知る

自分の住まう土地・家屋に水害のおそれが高まった場合に、自らの判断で適切に避難。

取引の相手方の土地・家屋の位置の提示、浸水深や避難所等の周知

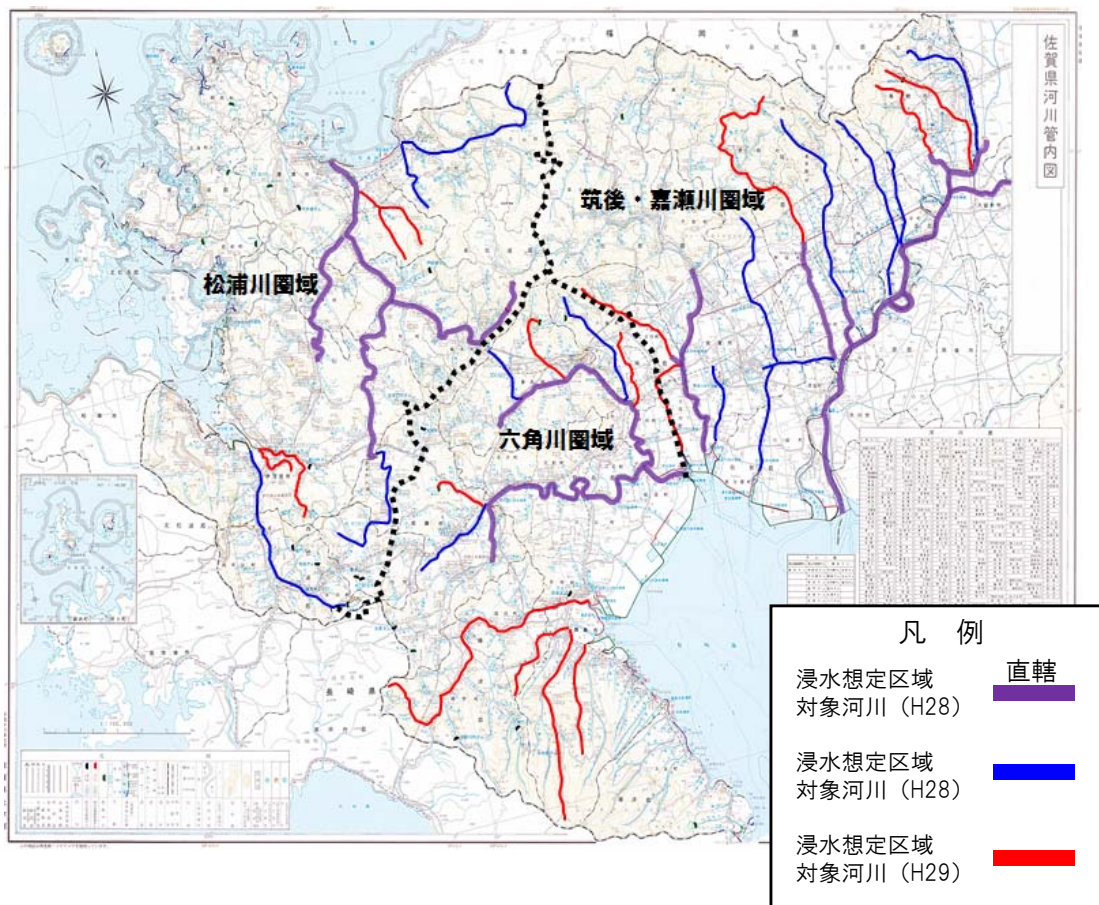
▲ 市町のハザードマップ

### ③減災に向けた更なる取組の推進(まちづくり、ソフト施策)

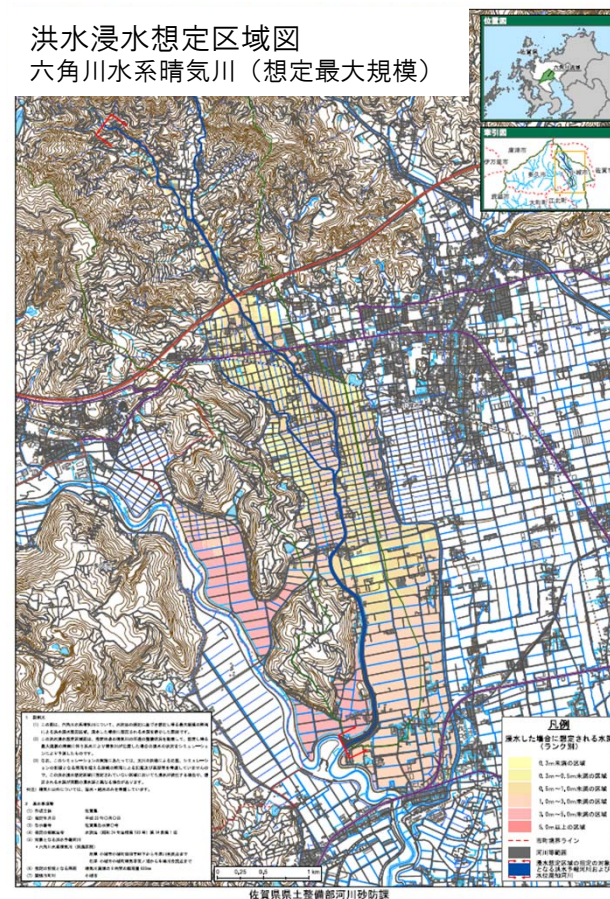
災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組（水位周知河川の拡充、洪水浸水想定区域図の作成促進等による浸水リスク情報の周知）

○災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、水位周知河川の拡充、洪水浸水想定区域図の作成促進等により、地域住民等へ浸水リスク情報の周知を行っていきます。

#### 今後の対策の方向性と内容



洪水浸水想定区域図  
六角川水系晴気川（想定最大規模）



佐賀県が管理する31河川（水位周知河川）で洪水浸水想定区域図の公表を行いました。今後は水位周知河川の追加指定に向け、市町と調整を進めます。

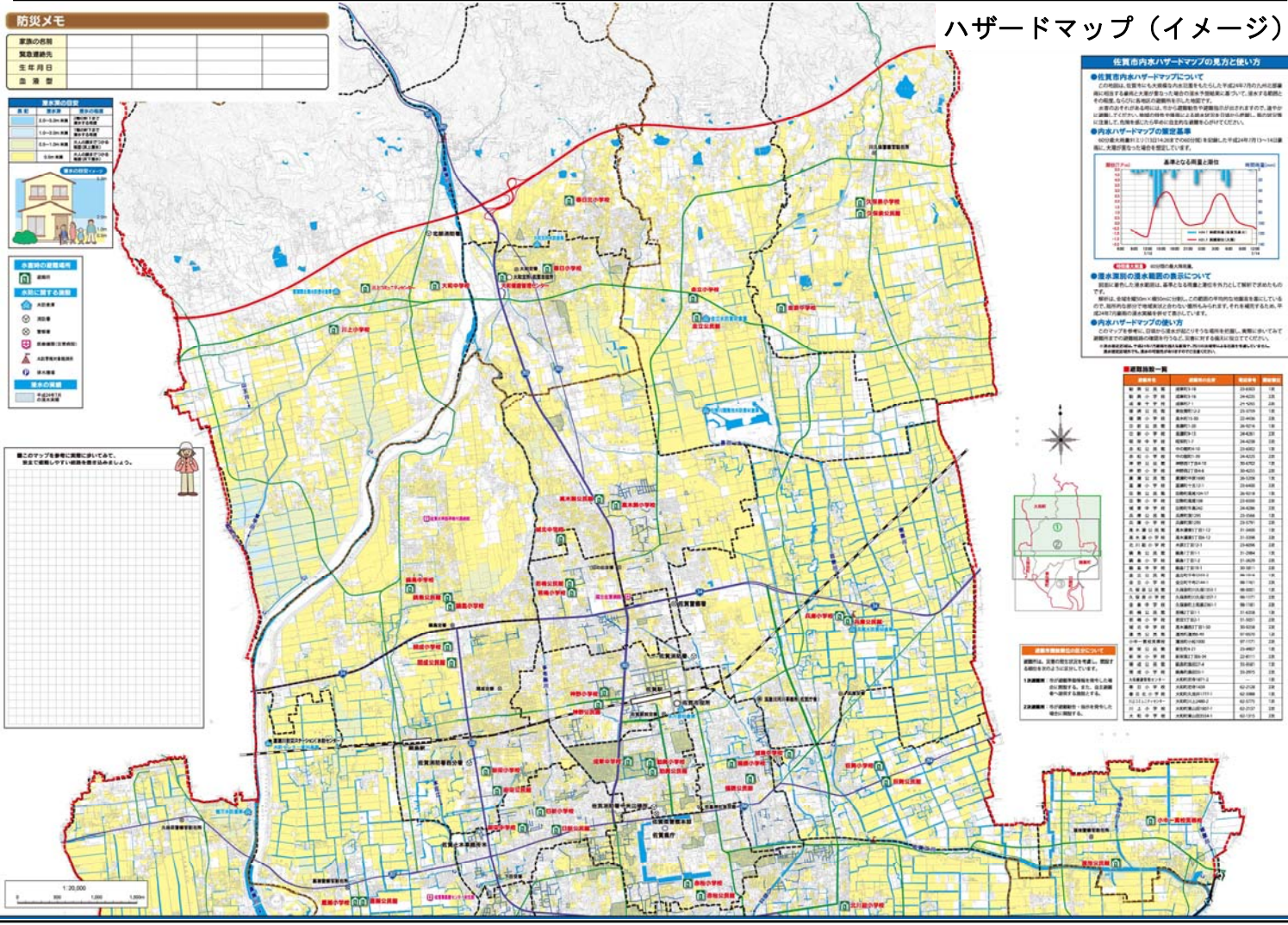
※具体的な対策内容等については、今後の調査・検討等により変更となる可能性があります。

災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組(支川の氾濫に着目したハザードマップ等を作成し、リスク情報を周知)

○災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、支川の氾濫に着目したハザードマップ等を作成し、地域住民等へのリスク情報周知を行っていきます。

今後の対策の方向性と内容

支流の氾濫に着目したハザードマップ等を作成し、リスク情報を周知



・このハザードマップを参考に、事前に、内水により、浸水する箇所を把握することで、避難所まで安全に避難するためのルートの確認や浸水深が深く危険な箇所(リスク)を把握。



※具体的な対策内容等については、今後の調査・検討等により変更となる可能性があります。

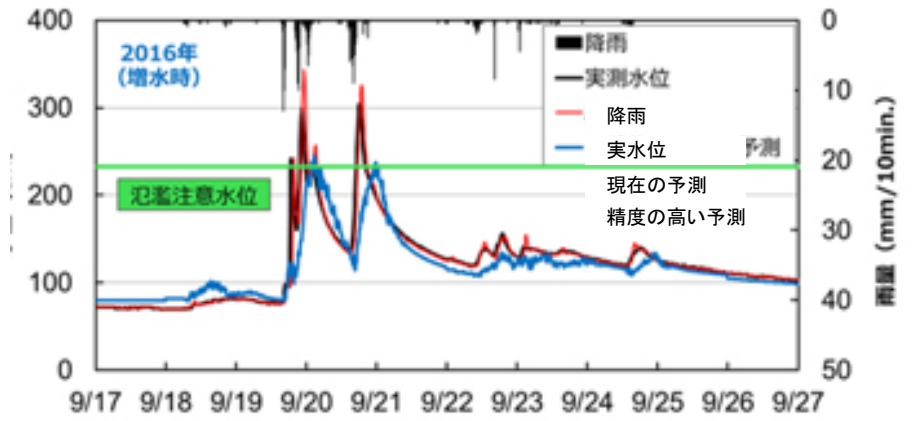
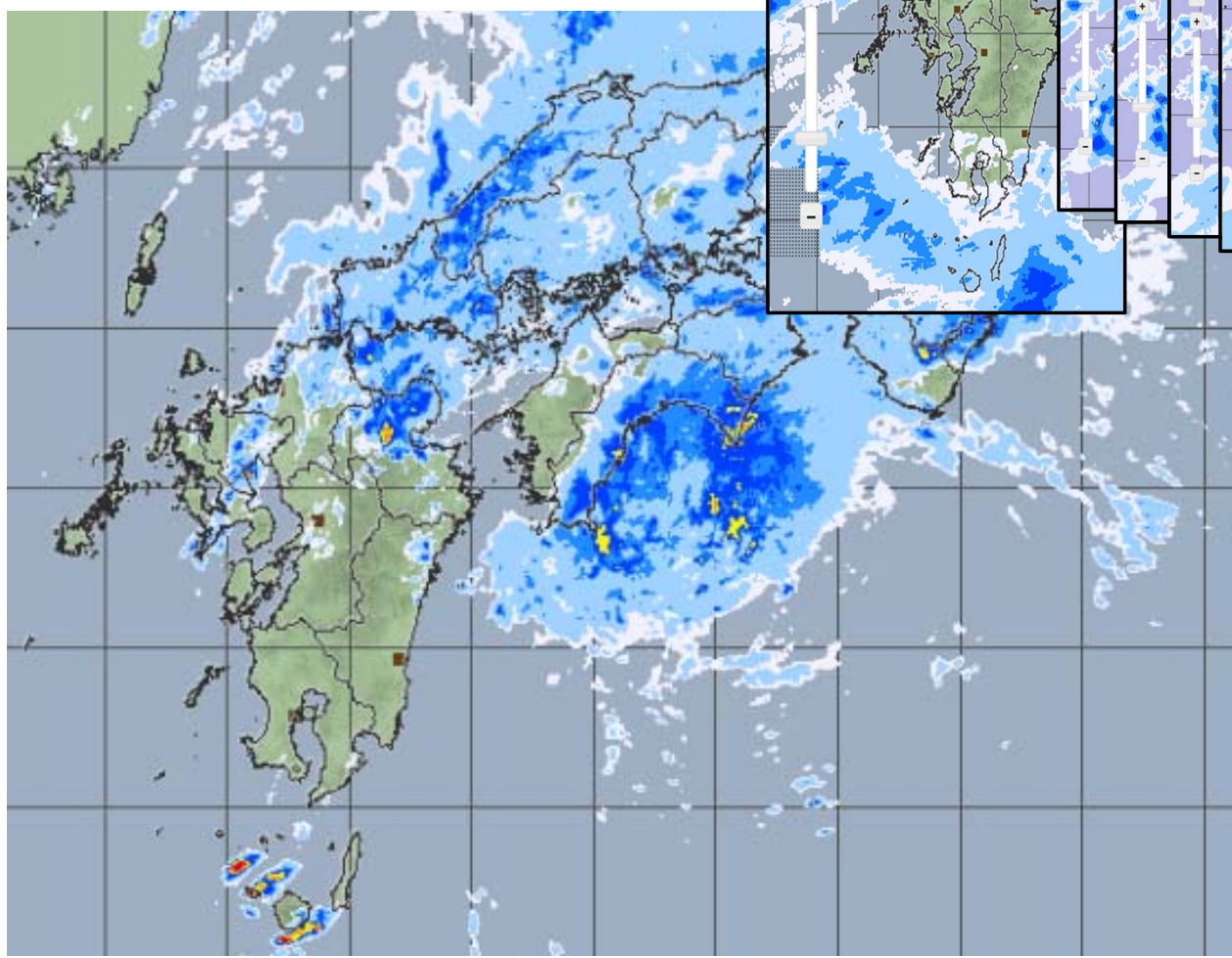
災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組（早期避難に向けた精度の高い降雨予測、水位予測の検討）

○災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、早期避難に向けた精度の高い降雨予測、水位予測の検討を行っていきます。

今後の対策の方向性と内容

現在 → 将来

精度の高い降雨予測



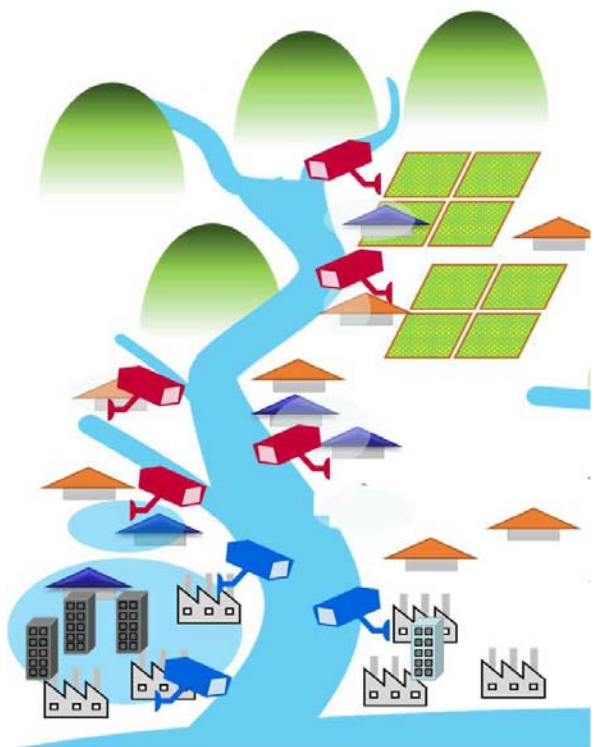
水位予測




※具体的な対策内容等については、今後の調査・検討等により変更となる可能性があります。

災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組（ケーブルテレビ、SNS等を活用した情報発信の強化）

○災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、ケーブルテレビ、SNS等を活用した情報発信の強化を行っていきます。

今後の対策の方向性と内容



-  河川監視カメラ(増強)
-  河川監視カメラ(既設)
-  浸水想定区域



▲インターネットライブチャンネル等を活用した河川監視カメラ画像配信



▲ スマートフォン、PCによる閲覧

▲ SNSによる情報提供

▲ テレビ放送（データ放送含む）

※具体的な対策内容等については、今後の調査・検討等により変更となる可能性があります。



## 災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組（報道機関と連携した情報発信の強化）

○災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、報道機関と連携した情報発信の強化を行っていきます。

### 今後の対策の方向性と内容



▲ 九州地方整備局における河川情報解説



▲ 九州地方整備局と気象台との共同会見

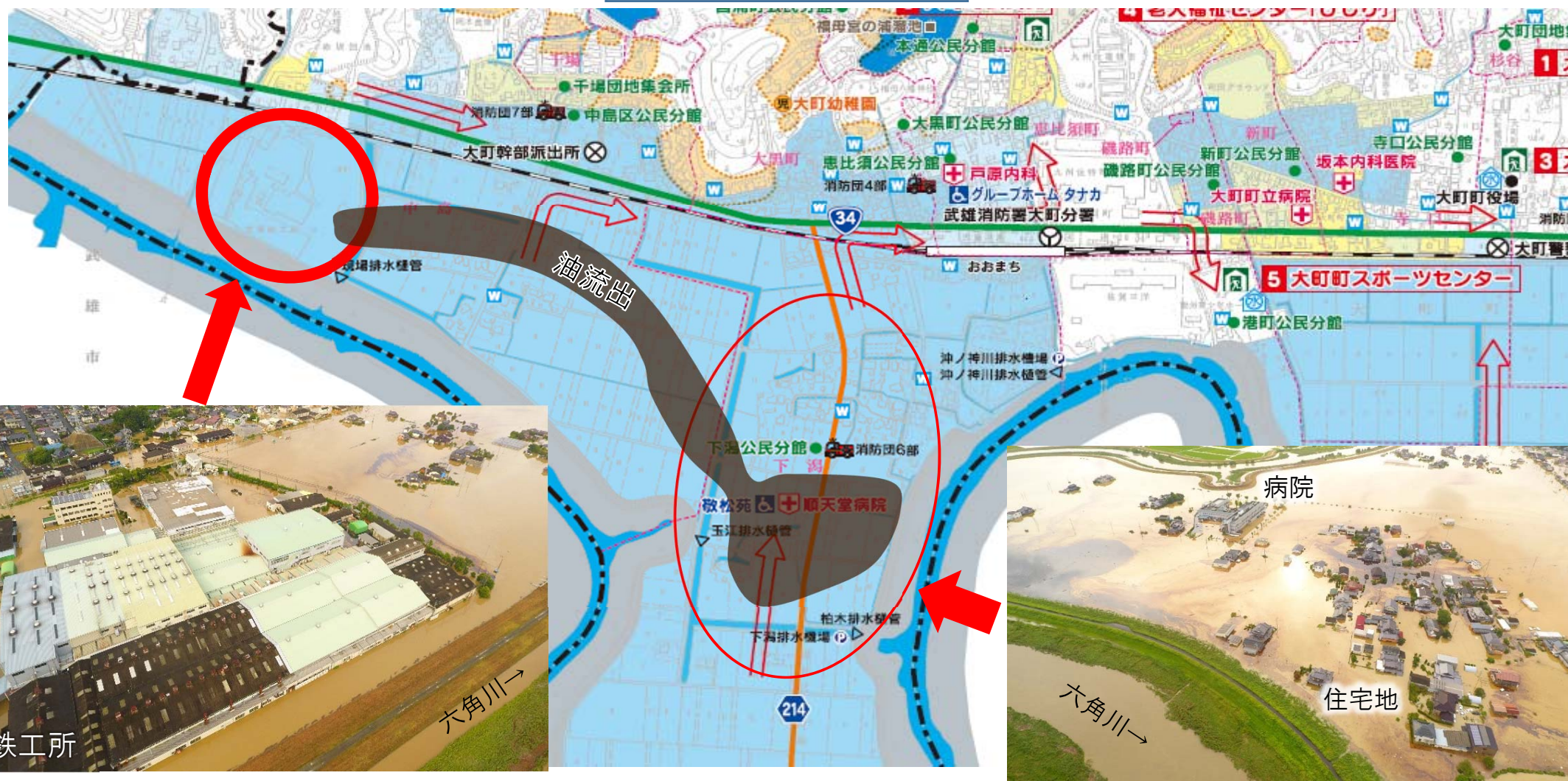
※具体的な対策内容等については、今後の調査・検討等により変更となる可能性があります。

災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組（浸水想定区域における企業、危険物管理施設への浸水リスク情報の提供）

○災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、浸水想定区域における企業、危険物管理施設への浸水リスク情報の提供を行っていきます。

今後の対策の方向性と内容

## ハザードマップ



※具体的な対策内容等については、今後の調査・検討等により変更となる可能性があります。

## 防災教育や防災知識の普及に関する取組（水害の記憶の伝承）

○防災教育や防災知識の普及に関する取組として、水害の記憶の伝承等により、地域防災力の向上を図ります。

今後の対策の方向性と内容

**流域に残る水害の記録や遺構を掘り起こし、その教訓などを後生に伝承することにより、地域防災力の向上を図ります。**



▲大水害のときに、人や食料等を運んだ「揚げ船」。昭和初期には、多くの世帯が保有していた。（鳥栖市水屋町）



▲個人宅の壁に残る昭和28年の大水害の時の水位跡。地面からの高さは約2m（唐津市）



▲大正3年の高潮災害で堤防決壊を防いだとしてまつられている「潮塞観音」（白石町）



▲武雄鍋島家の「御日記草書」には、江戸時代の150回に及ぶ地震の記録も（武雄市）



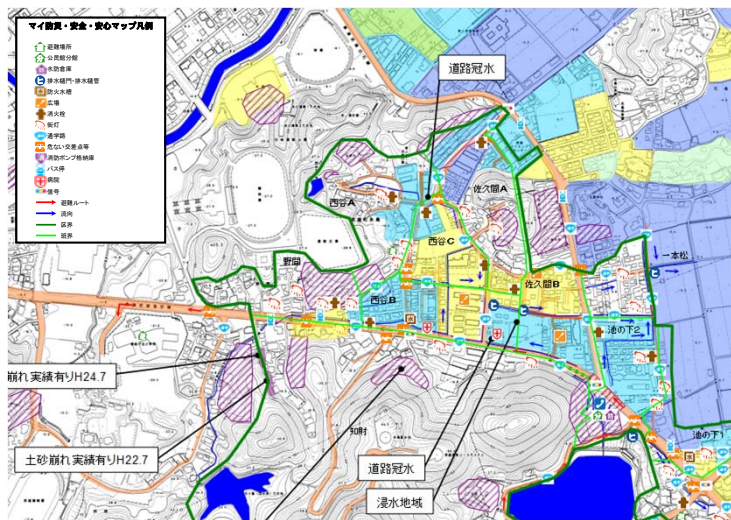
▲地域へのフィードバック（パネル展等）

# 防災教育や防災知識の普及に関する取組（マイ防災マップ、マイ・タイムラインづくりの推進）

○防災教育や防災知識の普及に関する取組として、地域住民と協働でマイ防災マップ、マイ・タイムラインづくりの推進等により、地域防災力の向上を図ります。

今後の対策の方向性と内容

## 「マイ防災マップ」の普及・推進



▲マイ防災マップ



▲マイ防災マップづくり

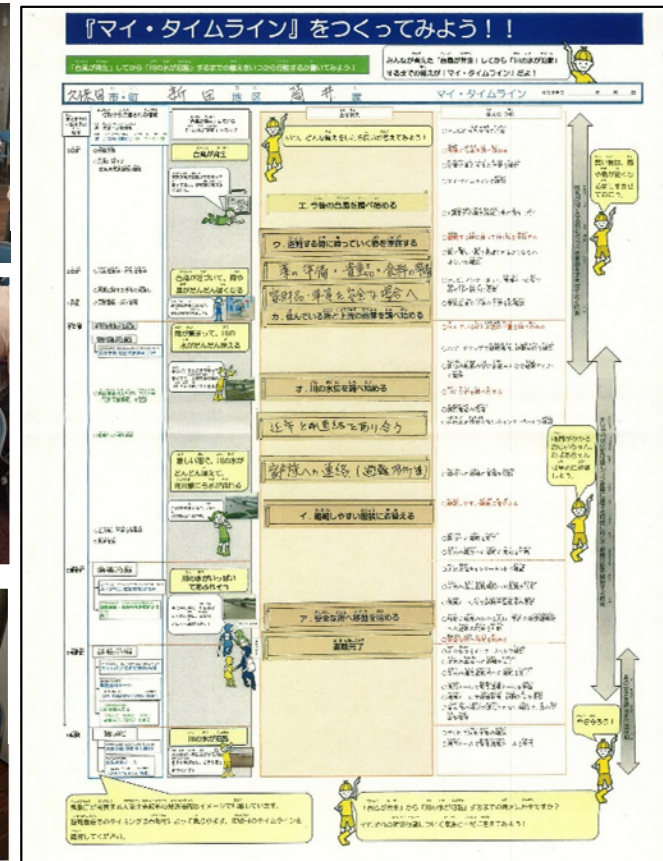


▲マイ防災マップを活用した防災訓練

## 「マイ・タイムライン」の普及・推進



ハザードマップ（洪水）で浸水範囲や避難所等を確認



▲完成したマイ・タイムライン

## 防災教育や防災知識の普及に関する取組（地域住民や小・中学校生等を対象にした防災教育の推進）

○防災教育や防災知識の普及に関する取組として、地域住民や小・中学校生等を対象にした防災教育の推進等により、地域防災力の向上を図ります。

今後の対策の方向性と内容

### 地域住民や小中学生等を対象にした防災教育の普及を推進します。



- ▲ 身近な地域を題材とした防災教材を授業で活用することにより、生徒の理解を深めることが可能



- ▲ 災害発生事に主体的に行動する力を養うため、地域住民や小中学生を対象にした防災教育を推進



## 防災教育や防災知識の普及に関する取組（学校における避難確保計画の作成と避難訓練の推進）

○防災教育や防災知識の普及に関する取組として、学校における避難確保計画の作成と避難訓練の推進等により、地域防災力の向上を図ります。

### 今後の対策の方向性と内容

**防災訓練実施に関する事項を含む避難確保計画の作成を推進するため、学校に特化した手引きを作成し周知。**

**手引きに基づき作成された避難確保計画や「水災害からの避難訓練ガイドブック」を踏まえて、学校における避難訓練の実施を支援。**

要配慮者利用施設（医療施設等を除く）に係る  
避難確保計画作成の手引き

（洪水・内水・高潮編）

平成29年6月

国土交通省水管理・国土保全局  
河川環境課水防企画室

令和元年度  
改定予定

▲ 避難確保計画作成の手引き



▲ 水災害からの避難訓練ガイドブック（H30.6）



▲ 大雨・洪水を想定した緊急避難下校訓練（集団下校）

防災教育や防災知識の普及に関する取組（まちなかに浸水リスクを表示するまるとまちごとハザードマップの推進）

○防災教育や防災知識の普及に関する取組として、地域住民と協働でまちなかに浸水リスクを表示する「まるとまちごとハザードマップ」の推進により、地域防災力の向上を図ります。

今後の対策の方向性と内容

### 避難行動に活用

▼ 現地に情報を表示



▼ 避難のイメージ



▼ 検討のための現地調査

## 防災教育や防災知識の普及に関する取組（前線性豪雨に対応したタイムラインの普及促進）

○防災教育や防災知識の普及に関する取組として、前線性豪雨に対応したタイムラインの普及促進等により、地域防災力の向上を図ります。

### 今後の対策の方向性と内容



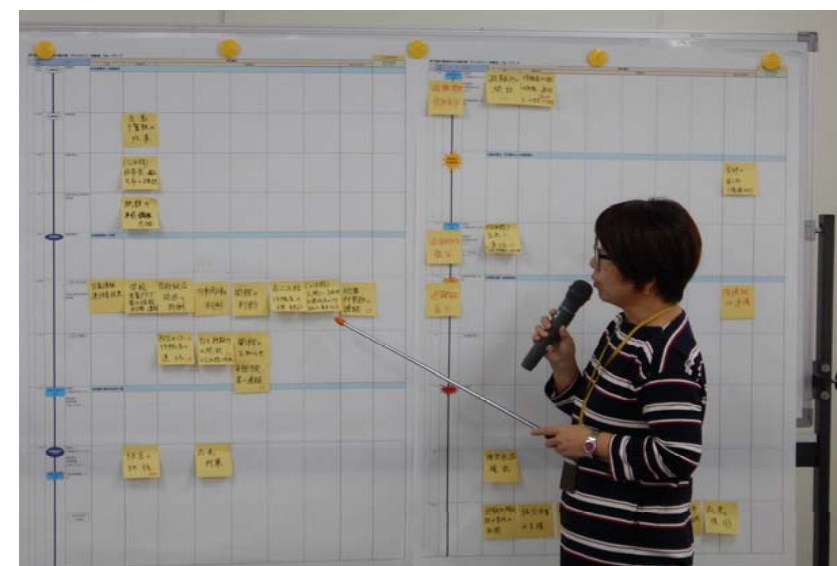
▲ 検討会の様子



▲ 行動項目を抽出



▲ 各対策部との連携を確認



▲ 各対策部からの報告

○また、策定後は実際の災害時や訓練等に活用し、見直しを図り、充実させていきます。



## 要配慮者利用施設の避難に関する取組の推進（地域防災計画への位置付けの推進）

○要配慮者利用施設の避難に関する取組の推進として、地域防災計画への位置付けの推進等により地域防災力の向上を図ります。

### 今後の対策の方向性と内容

武雄市地域防災計画

[平成30年改訂版]



▲ 岩手県で被災した要配慮者利用施設



避難所のイメージ ▶

※、逸米地区内施設内の要配慮者施設（数と避難人数は1施設1室）

番号	施設区分	施設名	所在地	確保人数	避難人数			
					高齢者	障害者	要配慮者	その他
1	児童福祉施設	あさひ保育園	福岡市中央区1728-1	25・8282	○			
2	○	大瀬保育園	福岡市中央区1526-8	55・8282	○			
3	○	西尾保育園	福岡市中央区1567-2	55・5015	○			
4	宿務	新築宿務	福岡市中央区12500	21・5717	○			
5	○	つばし児童館	福岡市中央区1105	21・1222	○			
6	○	ふたば児童館	福岡市中央区111-2	21・4598	○			
7	○	西瀬児童館	福岡市中央区15210-4	22・3598	○			
8	○	新築児童館	福岡市中央区15207	22・3538	○			
9	○	大瀬児童館	福岡市中央区1191	55・8920	○			
1.0	高齢者施設	老人福祉施設 三ノ木	福岡市中央区15807	33・1511	○			
1.1	○	ふたばの里 ちほひ	福岡市中央区1545	35・1810	○			
1.2	○	有料老人ホーム ちほひの里	福岡市中央区14978-1	28・8255	○			
1.3	障害者施設	ゆめ工房	福岡市中央区1101	25・8920	○			
1.4	○	くろがね国際福祉施設センター	福岡市中央区18774	22・5901	○			
1.5	○	さくらが丘国際福祉施設センター	福岡市中央区15884	600・1695・5549	○			
1.6	○	つくしのまほろば福祉センター	福岡市中央区11847-4	55・8925	○			
1.7	○	系島	福岡市中央区14869	55・8925	○			

## 要配慮者利用施設の避難に関する取組の推進（避難確保計画の作成と訓練の推進）

○要配慮者利用施設の避難に関する取組の推進として、避難確保計画の作成と訓練の推進等により地域防災力の向上を図ります。

### 今後の対策の方向性と内容

下記の法令等で対象となる要配慮者利用施設については、それぞれの災害毎に避難計画を策定することとなっています

対象とする災害	法令等	対象となる施設	計画策定に関する記載
洪水・雨水出水・高潮災害	水防法	浸水想定区域内かつ市町村地域防災計画に定められたもの	計画を作成するよう努めなければならない
土砂災害	土砂災害警戒避難ガイドライン	土砂災害警戒区域内	計画を策定する必要がある
津波災害	津波防災地域づくりに関する法律	警戒区域内かつ市町村地域防災計画又は市町村相互間地域防災計画に定められたもの	計画を作成しなければならない



▲ 避難訓練の状況

## 要配慮者利用施設の避難に関する取組の推進（避難確保計画の作成につながる講習会の開催）

○要配慮者利用施設の避難に関する取組の推進として、避難確保計画の作成につながる講習会の開催等により地域防災力の向上を図ります。

### 今後の対策の方向性と内容



▲ 講習会の様子



▲ 動画の視聴



▲ 話し合いの様子

※具体的な対策内容等については、今後の調査・検討等により変更となる可能性があります。

大規模災害時における迅速な復旧支援の取組（大規模浸水時において大型車両等が通行可能なアクセス網の確保）

○大規模災害時における迅速な復旧支援の取組として、大規模浸水時において大型車両等が通行可能な堤防天端や道路等のアクセス網を確保していきます。

今後の対策の方向性と内容



施工前



施工後

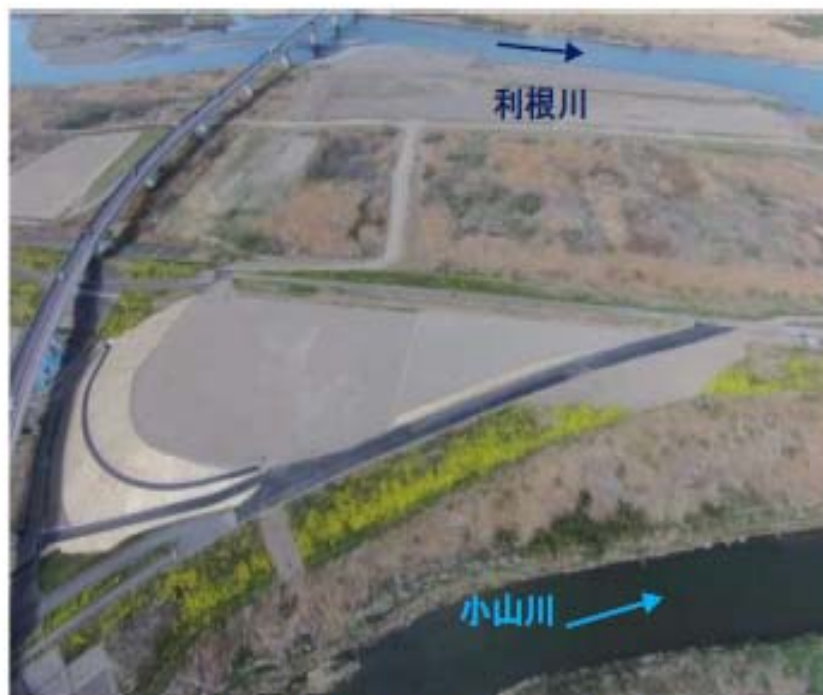
※具体的な対策内容等については、今後の調査・検討等により変更となる可能性があります。

大規模災害時における迅速な復旧支援の取組（掘削残土等を活用した、緊急避難場としての高台整備）

○大規模災害時における迅速な復旧支援の取組として、掘削残土等を活用した、緊急避難場としての高台整備を進めていきます。

今後の対策の方向性と内容

## 工事残土の活用等により緊急避難場所となる高台の整備



下高島地区(埼玉県深谷市)



栄地区広域避難地(埼玉県加須市)

## 大規模災害時における迅速な復旧支援の取組（防災拠点の整備、必要な資機材等の確保）

○大規模災害時における迅速な復旧支援の取組として、防災拠点の整備、必要な資機材等の確保していきます。

今後の対策の方向性と内容



▲ 嘉瀬川防災ステーション



▲ 資機材倉庫



▲ 備蓄資材を使った訓練